

ポリメイトアプリケーション開発キット

インストールを行うとAPDEVELOP420 フォルダ内に7つのフォルダが作成されます。

DLL フォルダ 制御DLL ファイル群

アプリケーション動作に必要なDLL をまとめています。

このDLL 群は、アプリケーションのEXE と同じフォルダ内に入れるようにします。

INCLUDE フォルダ ヘッダーファイル群

アプリケーション開発に必要なインクルードヘッダーファイルをまとめています。

このヘッダーファイルは、開発時のソースと同じフォルダにコピーして利用します。

LIB フォルダ ライブラリファイル群

アプリケーション開発に必要なリンク用のライブラリファイルをまとめています。

このライブラリファイルは、開発時のソースと同じフォルダにコピーして利用します。

INI フォルダ 初期条件INI ファイル群

アプリケーション動作に必要な初期条件ファイルをまとめています。この初期条件ファイルの拡張子は、INI あるいはINF となっています。

初期条件ファイルは、動作アプリケーション内で指定するフォルダにコピーして利用します。

APSCTRL. INF 収録条件・モニタージュ条件など

APSCTRL2. INF ポリメイトII用モニタージュ条件など (Ver. 4で追加)

EBOXLOCY. INF 電極情報 (電極の位置やラベル名などを保持)

SIGLABELY. INF 信号タイプに従ったラベル名文字情報

EVEITEMY. INF イベント情報

SOURCE フォルダ サンプルプログラムのソースファイル群

サンプルプログラムのソースと関連リソースが含まれています。

このサンプルプログラムをコンパイル・ビルドするとサンプルプログラムができ動作させることができます。

SAMPLE フォルダ サンプルプログラムの実行ファイル群

サンプルプログラムをビルドして実行できる形でまとめたサンプルプログラムです。

このまま、BIN¥APSTEST. EXE を実行すればサンプルプログラムが動きます。

DOC フォルダ ドキュメントファイル群

取説及び関数仕様がPDF ファイルで含まれています。